

市民と議会をつなぐ

市議会だより

SHINJO SHIGIKAI DAYORI

3月定例会

No.172

2026.5.13

歴史と伝統を
未来につなぐ



新年度予算審査3日間 …… P4～6

11人が一般質問 …………… P7～12



新庄市議会HP

新庄まつりは、地域を代表する祭りとして270年間受け継がれる中、「新庄まつりの山車行事」が、平成21年(2009年)に重要無形民俗文化財に、平成28年(2016年)には全国各地の「山・鉦・屋台行事」の一つとして、ユネスコ無形文化遺産に登録されました。

現在では、インバウンド(訪日外国人旅行)需要に対応するために、英語表記やガイドの配置等のおもてなしを行うことで、年々海外からのお客様も増えています。

1月臨時会

1月23日、令和7年度補正予算1件を原案のとおり可決しました。

審議された議案等

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
議案	第1号	令和7年度新庄市一般会計補正予算(第8号)	可決

3月定例会

初日、3月4日、報告2件を承認、報告1件を受け、人事案件2件に同意、議案3件、令和7年度補正予算6件を原案のとおり可決しました。
最終日、3月19日、令和8年度予算6件、議案17件を原案のとおり可決しました。また、追加提案された議案1件を原案のとおり可決しました。

審議された議案等

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
報告	第1号	令和7年度新庄市一般会計補正予算(第9号)の専決処分の承認について	承認
	第2号	令和7年度新庄市一般会計補正予算(第10号)の専決処分の承認について	
	第3号	損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	-
諮問	第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	可決
議案	第2号	令和7年度新庄市一般会計補正予算(第11号)	
	第3号	令和7年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	
	第4号	令和7年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算(第5号)	
	第5号	令和7年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	
	第6号	令和7年度新庄市水道事業会計補正予算(第5号)	
	第7号	令和7年度新庄市下水道事業会計補正予算(第4号)	
	第8号	令和8年度新庄市一般会計予算	
	第9号	令和8年度新庄市国民健康保険事業特別会計予算	
	第10号	令和8年度新庄市介護保険事業特別会計予算	
	第11号	令和8年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計予算	
	第12号	令和8年度新庄市水道事業会計予算	
	第13号	令和8年度新庄市下水道事業会計予算	
	第14号	新庄市教育委員会教育長の任命について	
第15号	新庄市立新中部保育所(仮称)建築工事請負契約(令和7年議案第2号)の一部変更について	可決	
第16号	新庄市民プラザ大規模改修工事の内空調設備工事請負契約の締結について		
第17号	新庄市民プラザ大規模改修工事の内電気設備工事請負契約の締結について		
第18号	新庄市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		
第19号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について		
第20号	金山町との新庄最上定住自立圏の形成に関する協定の変更について		
第21号	最上町との新庄最上定住自立圏の形成に関する協定の変更について		
第22号	舟形町との新庄最上定住自立圏の形成に関する協定の変更について		
第23号	真室川町との新庄最上定住自立圏の形成に関する協定の変更について		
第24号	大蔵村との新庄最上定住自立圏の形成に関する協定の変更について		
第25号	鮭川村との新庄最上定住自立圏の形成に関する協定の変更について		
第26号	戸沢村との新庄最上定住自立圏の形成に関する協定の変更について		
第27号	字の区域の変更について		
第28号	新庄市手数料条例の一部を改正する条例について		
第29号	新庄市保育所設置条例の一部を改正する条例について		
第30号	新庄市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		
第31号	新庄市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例について		
第32号	新庄市農村環境改善センター設置及び管理に関する条例を廃止する条例について		
第33号	新庄市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について		
第34号	新庄市水道給水条例の一部を改正する条例について		
第35号	財産の処分について		

議案等に対する議員の賛否

賛否の分かれた議案等をお知らせします。○→賛成 ●→反対

議案等番号	会派名	新政・結の会										共に創る市民の会				会派に属さない議員	採決結果		
		小嶋富弥	小野周一	高橋富美子	佐藤卓也	山科正仁	山科春美	渡部正七	鈴木法学	辺見孝太	鈴木啓太	坂本健太郎	田中功	伊藤健一	今田浩徳	新田道尋		佐藤悦子	亀井博人
議案第8号	令和8年度新庄市一般会計予算	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案第11号	令和8年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計予算	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
令和7年請願第5号	道路復旧工事についての請願	●	●	●	-	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	不採択

※議長は採決に参加しません。

請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員	結果
道路復旧工事についての請願	高橋 由貴	佐藤 悦子 坂本 健太郎	不採択

常任委員会の報告

総務文教常任委員会の主な質疑

●議案第18号

新庄市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

Q 通勤手当について、片道80kmに該当する職員は何人いるか。

A 会計年度任用職員1名が該当する。

●議案第20号、第26号

7町村との新庄最上定住自立圏の形成に関する協定の変更について

Q 定住自立圏構想の成果を最上圏域の人に知らせる必要があるのではないか。

A 5年ごとの計画策定時などに広報できるように考えたい。

産業厚生常任委員会の主な質疑

●請願第28号

新庄市手数料条例の一部を改正する条例について

Q 2年目となると、10円というお得感だけいいのか。1000円でも取得する人は取得する。

費用対効果はどうか。

A 費用対効果などを考えれば、差があることはそのとおりであるが、10円で取得できると周知することで、インパクトがありコンビニ交付の利用率向上にもつながるため、妥当な料金であると考えている。

●請願第5号

道路復旧工事についての請願

【主な意見】

●現状の条例では対応しきれない部分もあり、検討する中で方向性を決めかねている状況でもあるため、もう少し継続して審査していく方法がいいと思う。

●通常の2分の1の補助ではない、災害特例のような考えも検討するという話もあるが、この件は2年も経過しており、いまだに困っている人もいるため柔軟に対応できないか。

市議会だより第171号のお詫びと訂正

紙でお配りしております市議会だより第171号(令和8年2月10日発行)の記事に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

1ページ「表紙 新庄東山焼の説明について」

誤

～山形県指定民俗文化財・新庄東山焼～
新庄東山焼は、天保12年に開窯された新庄市の伝統工芸品です。地元産の陶土と、特有の「出羽の雪」と呼ばれる青白い海鼠釉(なまこゆう)が特徴。1974年に山形県指定民俗文化財に登録され、現在も伝統を継承しています。

正

～新庄市指定有形民俗文化財・新庄東山焼～
新庄東山焼は、天保12年に開窯された新庄市の伝統工芸品です。地元産の陶土と、「出羽の雪のかげりの色」と例えられる澄んだ青みの海鼠釉(なまこゆう)が特色です。昭和62年に新庄市指定有形民俗文化財に指定され、現在も伝統を継承しています。

予算特別委員会の審査から

214億7,300万円を可決

まち新庄へ!



かむてん© 新庄市×富樫義博

一般会計

〔歳入〕

個人市民税

Q. 個人所得分のうち、農業所得の農業者数の見込みを伺う。

A. 850件ほどを見込んでいますが、複数所得をお持ちの方の場合、最も所得額が大きい項目を1件としてカウントすることになる。

物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金

Q. この交付金への依存度が高いと考えるが、減額または終了した場合、どのように手当てしていく考えか。

A. 市としても臨時的な財源として捉えており、経常的な経費には充てないように留意している。なくなった場合は改めて対策を考えていく予定である。

ふるさと納税寄附金

Q. 返礼品、送料、手数料等を差し引いた実質的な財源の割合は。

A. 令和6年度の実績では、経費や返礼品、事務的経費を差し引いて、基金に積立ててきた額は寄附額全体の48%程度であった。

最上広域市町村圏 事務組合職員派遣負担金

Q. 新庄市から最上広域市町村圏事務組合へ派遣する職員数は、昨年と同数か。

A. これまでの人数と変わらない。なお、予算額が昨年よりも上がっているのは給与改定によるものである。

〔歳出〕

職員研修事業費

Q. 環境変化に対して、意思決定が遅れたり停滞しないための組織の柔軟なあり方を伺う。

A. この地域をどうやって持続可能で、市民の方々が安心して暮らせるようにできる市にしていこうということを、職員一人一人が組織を挙げて考えていかなければならないと認識している。研修一つとっても、一人一人がそうしたことを自覚しながら、意欲の高い人材、組織にする必要があると考えている。

結婚新生活支援 事業補助金

Q. 令和7年度より予算額が減少しているが、実績を伺う。

A. 令和7年度の実績は15名程度で、これと同程度の予算を計上している。これ以上に対象となる方がいた

場合は、補正予算などで対応したいと考えている。

大相撲地方巡業 開催事業費

Q. 学校や子ども向けの企画は何か考えているか。

A. ちびっこ相撲のような場面を設けたいと考えている。

地域公共交通 実証運行負担金

Q. 市営バスまちなか循環線を1台増車し、2台運行とする理由を伺う。

A. 1台運行では走行できる区間・エリアが限られていること、現在のダイヤは次のバスまで2時間以上間隔が空いていることから、運行エリアの拡大及び運行間隔の短縮による利便性を高めるための調査として、2台での実証運行を実施し、その結果を踏まえ、地域公共交通計画を策定する。

わらすこ広場改修 業務委託料

Q. 広場借上料や駐車場について議論があり、子どもの遊び場整備を希望する多くの声があったが、関係者の声などは聞いたのか。

A. 令和5年のニーズ調査において、回



12日



13日



16日

住み続けたい

全会計歳入歳出予算総計 323億4,091万8千円。

予算特別委員会(鈴木法学委員長)で令和8年3月12、13、16日の3日間審査。

答者の約7割の方から屋内遊戯施設が欲しいという声があり、その中でも、高学年まで楽しめる場所が欲しいとの声が多かったため、小学校6年生までの遊び場として改修し、遊具を刷新することとしている。

Q. わらすこ広場をリニューアルした後利用者の増加が見込まれるが、駐車場の確保についてはどのように考えているか。

A. 現在は北本町の立体駐車場を利用していただいているが、駐車券を配布して、駐車料金を無償化することで対応したいと考えている。

中部保育所解体工事に伴う地盤変動影響調査業務委託料

Q. 現在の中部保育所を解体した後の跡地利用をどう考えているか。

A. 解体後の具体的な跡地の活用はまだ決まっていない。

保育所運営事業費

Q. 市では国の保育士配置基準が守られているのか。

A. 国の配置基準などにに基づき計算すると公立保育所に必要な保育士は25名だが、市では現在48名の保育士で運用している。

母子保健事業費

Q. 大塚製薬と締結した健康維持増進に関する包括連携協定と、5歳児健診等をどう連携させるのか。

A. 大塚製薬様より、産前産後のサポート事業へのご協力等、ご提案をいただいている。次回以降の打合せの中で具体的な事業連携について進めることとしているため、5歳児健診も含め、発達に係る啓蒙啓発についても考えていきたい。

多胎妊婦の妊婦健康診査助成金

Q. 助成額は実際の自己負担額をどの程度カバーできると想定しているか。

A. 多胎妊娠の妊婦にかかる追加の健診について、5千円×5回までの助成としているが、健診回数、負担金額ともにほぼカバーできると考えている。

新生児聴覚検査業務委託料

Q. 1件あたり7千円に拡充されているが、その背景を伺う。

A. 新生児の聴覚検査は任意であったが、早期発見・早期療育・早期治療の面では重要であると考え、令和6年度は1件あたり3500円、令和7年度は1件あたり5千円を助成した。令和8年度にはさらに1件あたり7千円に拡充する予定だが、聴覚検査においては検査費用の全額をカバーできていないため、引き続き拡充に努めたい。

RSウイルス予防接種業務委託料

Q. 接種対象者数を伺う。

A. 150人程度を想定し、接種率を95%と見込んで予算計上している。対象となる方全員に接種していただきたいと考えているため、母子手帳交付時の周知など積極的に接種の呼びかけを行いたいと考えている。

猫の不妊去勢手術支援事業補助金

Q. 制度の内容について伺う。

A. 市内に生息する飼い主のいない猫、市内で多頭飼育崩壊を起こしている状況の飼い猫、近隣住民から糞尿被害等の苦情が寄せられている猫に対する不妊去勢手術の費用を助成するものであり、雌猫は1匹あたり1万円、雄猫は1匹あたり5千円を助成する。

鳥獣対策事業費

Q. クマ等鳥獣被害対策事業の中で、特徴的な内容を伺う。

A. クマ対策の補助を行っていたため、地域おこし協力隊1名の募集を考えている。また、鳥獣捕獲に対する報酬を日当から時間給への拡充、捕獲した際の報酬をクマ1頭あたり2万円、イノシシ1頭あたり1万円を支払うことを検討している。また、新規狩猟免許の取得補助を拡充するほか、不要果樹の樹木伐採について、県の補助金に上乗せする形で補助を行う。

産業振興ビジョン 推進委員会報酬

Q. 本事業では主に推進委員会の開催や基礎調査業務委託料が計上されているが、令和8年度は具体的にどの段階まで進める予定なのか。

A. 推進委員会を開催し、産業振興ビジョンの進捗管理や必要な事業等について意見を頂く。また、今後の企業立地に向けた戦略的な施策を検討するための基礎的調査を行い、工業用地のあり方についても一定の方向性を出せればと考えている。

金沢地区法定外水路改良 工事実施設計業務委託料

Q. 内容を伺う。

A. 今年度、三吉町地内において、豪雨のたびに一部冠水する箇所の流域調査を行ったところ、一定区間の整備が必要であることが判明したため、その改良工事を行うための実施設計を行

うものである。

道路の除排雪業務費

Q. 生活道路の除雪について、戸数要件を見直す必要があると考えるがどうか。

A. 昭和63年から始まった制度であり、状況の変化に合わせた基準の見直しについて検討すべきと感じている。

図書館管理運営事業費

Q. 駐車場8台分の追加ではまだ不足していると思うが、近くに駐車したいと思う方が大多数と考える。隣接敷地の調査等についてはどう考えているか。

A. 現在、図書館周辺の土地の取得について具体的な計画はないため、引き続き情報収集に努めたいと考えている。

ふるさと歴史センター 管理事業

Q. 現在一部開館となっているふるさと歴史センターの現状を伺う。

A. 現在はおまつりホール等一部開館している。故障したエレベーター、消防設備、空調設備等は保険により修繕することとしており、現在着手している。修繕が完了し、安全確認を経て支障がないことが認められれば、通常開館したいと考えている。

国民健康保険事業特別会計

一般会計繰入金

Q. 一般会計繰入金が増加している要因について、どのように分析しているのか。

A. 令和7年度の実績値見込との比較で3%の増加と見込んだこと、また、国民健康保険税の軽減世帯が全体の約6割となり、国・県からの保険基盤安定負担金も増加していることにより一般会計の国・県からの負担金も増えているため、繰入金も増加している。

保険給付費

Q. 保険給付費全体で昨年度より8千万円ほど減少しているが、来年度は診療報酬の改定により2.2%の引上げとなる。どのように算定したのか。

A. 現在一般保険者数は6100名を下回り、また令和8年度には5千人台になるのではないかと分析している。1人あたりの医療費は横ばいまたは若干の上昇傾向にあるが、保険者数の減少と診療報酬の改定を加味して減額とした。

子ども・子育て支援納付金

Q. 1人あたりの負担額はどのくらいか。

A. 国では1世帯あたり350円程度と示していたが、モデルケースであり、世帯の所得状況によって金額は違うため、現時点では1人あたりの金額の試算は行っていない。

介護保険事業特別会計

認知症総合支援事業費

Q. 昨年度と比べて予算額が増加している要因を伺う。

A. 認知症高齢者見守り事業を新たに取り組むほか、地域包括支援センターの認知症事業担当を増員し、体制を強化する。また、令和8年度は市の認知症施策推進のための計画策定を予定している。

水道事業会計

工事請負費

Q. 畑送水ポンプ場水道施設災害復旧工事以外の災害復旧工事は他にあるのか。また、その他の工事はどのようなものを予定しているか。

A. 災害復旧工事は畑送水ポンプ場水道施設災害復旧工事のみである。その他の工事としては、水道施設テレメータ装置光回線化工事3720万円ほど、高壇地区配水支管布設替工事2300万円ほどを予定している。

一般質問

一般質問は、3月5日、6日、9日の3日間、11名の議員が行いました。質問の項目及び要旨は、質問者の通告原稿に基づき掲載しています。

※掲載している文章は、抜粋し、要約したものです。詳しくは各議員の二次元コードから動画をご覧ください。

ねえ、かむてんおしえて!

一般質問って何?

一般質問とは、議員が市政全般のことについて、執行部に質問することじゃ。



かむてん© 新庄市×富樫義博

3月定例会一般質問の質問者と質問事項

田中 功

- 1.豪雪対応と今後の雪対策について P7
- 2.子どもの不登校の実態と対策について P7
- 3.放課後児童クラブの充足率について

渡部 正七

- 1.「道の駅 新庄エコロジーガーデン原蚕の杜」について
- 2.「地域の稼ぐ力向上プロジェクト」について P8
- 3.「農業振興と農福連携」について P8

坂本 健太郎

- 1.教育行政(学校教育)について P8
- 2.地域と学校の協働活動について
- 3.部活動の地域展開について

小嶋 富弥

- 1.持続可能な安全安心なまちづくりについて P9
- 2.雪対策について P9

辺見 孝太

- 1.公共施設マネジメントの進め方について
- 2.新庄まつり実行委員会の新たな体制について
- 3.漫画・アニメを活用した地域活性化事業について P9
- 4.最上公園の整備計画について

山科 春美

- 1.観光のまちづくりについて P10
- 2.空き家対策事業について P10

鈴木 啓太

- 1.ふるさと納税について
- 2.デジタル化を踏まえた窓口体制の在り方について
- 3.本市の防犯対策について P10

亀井 博人

- 1.住みやすさについて P11
- 2.職員体制について
- 3.ごみの出し方について P11

伊藤 健一

- 1.若者の地元定住に向けた奨学金等の返済支援および免除制度の拡充について P11
- 2.「新庄まつり270年祭」の総括と今後の将来ビジョンについて
- 3.防災危機管理体制の強化と専門組織の新設による効果について P11

佐藤 悦子

- 1.地域の固有の資源、再生可能エネルギーは、地域共生のために P12
- 2.安心して地域で住み続けられる介護保障を
- 3.クマ出没の原因と緊急銃猟制度
- 4.情報保障をすべての人に

高橋 富美子

- 1.視覚障がい者の移動支援としてのナビレンス設置について
- 2.雪に強いまちづくりに向けた情報発信の強化について
- 3.更年期障害の早期発見に向けた検査数値の活用と啓発について P12
- 4.中高生の防災意識向上の取り組みについて P12

質問動画はこちら



豪雪対策と今後の対応について



たなか いさお 議員
田中 功

市長 本市では、低所得で一人暮らしの高齢者や高齢夫婦世帯、障がい者世帯等を対象に、シルバー人材センター、市建設クラブと連携し、屋根の雪下ろしや玄関前除雪を実施しています。この支援制度は、ご自身での除雪が困難で、親族や近隣者等の支援を得ることが難しい場合に対象者宅の除雪作業を実施するものであり、今年度の実施状況は、雪下ろし141世帯、玄関前除雪75世帯となっています。本制度は冬季間の市民生活を支える重要な支援事業であることから、関係機関と連携し、事業の継続に努めます。

また、今年度から「第3次新庄市総合雪対策基本計画」の策定を進めており、除雪体制や消流雪など雪対策全体において、これまでの実績や課題を検証し、今後起こりうる豪雪の年であっても、

◎高齢者・独居世帯が増える中、今年の様な豪雪により除雪負担が増しているが、除雪支援の現状と方向性、また今後の豪雪を見据えた中長期的な雪対策の考えを伺う。

◎全国的に不登校児童生徒が増える中、新庄市の現状と推移、併せて今後の不登校対策と子どもの居場所づくりの考えを伺う。

教育長 本市における近年の不登校児童生徒数は、年によって増減はあるものの、中学校では微増傾向、小学校では増加傾向となっています。また、不登校の傾向にある児童生徒も増加傾向にあります。

子どもの居場所づくりについては、子どもの成長の基盤となる安心感や自己肯定感を育むために、非常に大切な取組であると捉えています。本市では「シャイニング教室」を開設し、学習保障の場とするともに、子どもの居場所となる団体について、市ホームページを通じて、活動内容などの周知を進めています。また、令和6年度からは、各団体の代表者を集めていただき、それぞれの活動について情報共有し、団体の連携を深めています。



背丈を超える豪雪



わたなべ しょうしち 渡部 正七 議員

地域特性を活かした新たな産業の創出を



質問動画は
こちらから

◎「地域の稼ぐ力向上プロジェクト」において、稼げるまち・稼ぐ力を高めるため、今後どのように産業戦略や地域資源の活用等の方策を思い描いているのか、市長の見解を伺う。

市長 人口減少や経済環境の変化が加速する中、本市が持続可能な発展を遂げるためには、地域の「稼ぐ力」を抜本的に向上させることが喫緊の課題であると認識しています。

現在策定を進めている「産業振興ビジョン」においては、「地域の付加価値増加・循環の仕組みの構築」「若者がやりたい・やりがいのある職場や仕事の創出、多様な人材の育成」「地域特性を活かした新たな産業の創出」の3点を重要な柱として位置付けており、これらの視点を踏まえ、地域全体で成長産業の産業集積を一体的に推進することにより、地域の稼ぐ力を高めていきます。

◎改正された食料・農業・農村基本法において「農福連携の推進」が位置付けられているが、本市の認識と実例研究や取組状況を具体的に伺う。

市長 本市では、すでに市内の複数の就労支援事業所が農家や農業法人と手を取り合い、現場での実践を積み重ねています。

具体的には、本市の振興作物であるネギやアスパラガスの収穫や選別作業、伝承野菜の栽培管理において、障がいを持った方々を雇用し、丁寧な作業を行っていただいています。これらは農家の負担軽減につながるとともに、事業所側にとっても、工賃の向上や就労意欲の醸成という成果を生み出しているものと認識しています。



賑わいのある道の駅へ

これからの教育政策を問う



質問動画は
こちらから

◎教育長が令和6年度から担ってきた本市の教育行政について、教育を取り巻く環境が大きく変化する中での課題と状況を伺う。

教育長 教育長に就任して2年が経過しようとしています。新しい子どもたちは素直に、そしておらかに育っていると感じています。その中で、課題があると感じたことが2点あります。

1つ目は、子どもたちの学びに対する意欲を喚起できていないことです。学び以外にも、スポーツや読書などに取り組む意欲も低い子が多い印象です。

これは本市に限った課題ではありませんが、どうやって子どもたちのやる気を喚起するのか、引き続き保護者や地域の皆さんと一緒に考えて取り組まなければならぬと考えています。

2つ目は、グローバル化や情報化、少子高齢化など社会の急激な変化に伴う高度化・複雑化する諸課題への対応の遅れです。

常に後手に回ってしまい、先んじて対応することが出来ない状況です。予算が伴う事柄は対応が困難な場合もありますが、教育委員会や教職員の意識改革によって対応可能なものもあると感じているため、それらを徹底する必要があります。



学校教育の現場

◎教育長の次期3年間の任期の中で一丁目一番地で取り組みたいものは何か。

教育長 学校現場での一丁目一番地は確かな学力を身に付けることだと思っています。この場合の学力はペーパーテストで点数を取ることだけでなく、自分自身が学ぶ力ではないかと考えて取り組んできましたので、自ら学ぶ力をどのように子どもたちに培ってもらうか、どのように育てていくかということが一番に考えて進めていきたいと考えています。



さかもと けんたろう 坂本 健太郎 議員

質問動画は
こちらから



未来に向かって暮らしやすい新庄に



おじま とみや 議員
小嶋 富弥

◎今冬は、1月下旬からの豪雪に伴い市民が難儀をしました。特に最上川から揚水し市内各河川に補水を行っていましたが、漏水によりできなくなりました。これらの影響と今後の雪対策について伺う。

市長 消流雪用水事業については、国営新庄農業水利施設を多目的使用の許可を得て、毎年12月から2月にかけて最上川から揚水し、市内各河川に補水を行っています。12月の通水準備の際に複数箇所が漏水が確認され、修繕に時間を要することから、今シーズンの通水は不可能となりました。このことを受け、緊急措置として国土交通省新庄河川事務所の許可を得て、新田川を水源とした消流雪用水を確保したところです。しかしながら、例年と比べ流雪溝の水量が少なくなつたことから、投雪しても雪が流れにくく水路内に堆積し、これまであまり発生しなかつた地区での水上がりも確認され対応を行う場面もありました。



除雪作業の様子

市長 鳥獣被害対策協議会の実施主体である猟友会会員の待遇改善に向けて日当を見直すとともに、新たにクマ・イノシシを捕獲した際にも報酬を支給するなどの支援を拡充させるほか、緊急銃猟の実施に対応するための装備品を充実させるとともに、捕獲体制の強化に向け、新たな担い手の確保・育成を図るため、令和7年度に補助制度を拡充した新規狩猟免許取得者への補助を引き続き実施し、取組を強化していきます。このほか、鳥獣被害防止に向け、誘因物となる果樹の伐採をはじめとする環境整備にも取り組めます。

◎昨年は熊が街の中まで出没しましたが、来年度予算を拡充していますが、その内容をお伺いします。

また、投雪ができず雪捨て場へ運搬排雪された方もいるなど、市民生活に大きな影響を及ぼしたものと捉えています。

質問動画は
こちらから



漫画・アニメで観光振興!



へんみ こうた 議員
辺見 孝太

◎漫画・アニメを活用した地域活性化事業について、単年度の事業にとどめるのではなく、継続して通年型の観光コンテンツとして育てていく考えはあるか。

市長 今年度、本市の観光大使である今村翔吾先生の小説「火喰鳥」の漫画化・アニメ化を契機とし、観光庁の「地域観光魅力向上事業」を活用して、キャラクターをモチーフとしたコンセプトルームやスタンドパネル等の撮影スポットの設置、オリジナルグッズの製作など、作品のファンに向け、本市を訪れることで体験できるコンテンツを整備しました。来年度は、これまで十分に活用しきれなかった本市出身の漫画家の作品をメインコンテンツとして、今年度に整備したスポット等の活用も継続して、観光や物産、宿泊業等、地域の事業主体と連携し、市内の広範なエリアにわたる周遊企画を実施したいと考えています。



アニメ「火喰鳥」のキャラクターパネル

◎観光で訪れてくださった方との出会いを一過性のものにせず継続的なものへ育てていく視点を持ち、観光以上定住未満と言われる関係人口を増やすことが重要と考えるが市の見解を伺う。

市長 関係人口の創出については、総合計画の見直しの中で新たに盛り込み、力を入れて取り組みたいと考えています。

また、国では「ふるさと住民登録制度」を新たに創設するという話を聞いているため、こうした情報をいち早く取り入れ、市の関係人口を増やしていかなければならないと考えています。

他にも、ふるさと納税をうまく活用したり、新庄ふるさと応援隊などに働きかけるなどして、そこからさらに関係人口が広がるような仕組みを考えていきます。

整備したコンテンツは、企画終了後も観光スポットとして活用することで、通年型・滞在型観光として成熟させたいと考えています。

質問動画は
こちらから



新庄の魅力を発信し観光のまちづくりを!



やま しな はる み 議員
山科 春美

◎米有力旅行メディアが発表した「2026年に行くべき世界の旅行先25選」に、山形県が日本で唯一選出されていますが、新庄市ではこれをどう生かそうとされますか。

市長 アメリカの有力メディア「ナショナルジオグラフィック」が発表する「2026年に行くべき世界の旅行先25選」に日本国内から唯一山形県が選出されたことにより、海外からの注目度が高まっています。

すでに知名度のある銀山温泉、蔵王、羽黒山等の観光地は、本市との距離も近く、それらを訪れるインバウンド観光客に対して、近隣町村と協力してPRを行うことで最上地域全体への誘客を推進したいと考えています。

◎今年度は空き家対策として空き家の実態把握調査など、対策強化に向けて様々な施策が行われました。空き家の実態把握調査ではどのような成果があったかお聞かせください。

市長 今年度、実態調査として、目視による外観の調査を実施し、その物件ごとに「居住できる状態である」や「大規模な修理が必要な状態である」などの4つの区分に分類し、現在、調査内容を整理、取りまとめを行っているところです。併せて、空き家の所有者及び管理者に対し、今後の維持管理や活用などの意向調査を行っており、回答の集計作業を進めているところです。



道の駅「新庄エコロジーガーデン原蚕の杜」

質問動画は
こちらから



安全安心なまちづくりを



すず き けい た 議員
鈴木 啓太

◎本市が防犯カメラの設置をする場合は、どのような基準や考え方に基つき検討していくのか伺う。

市長 防犯カメラの設置箇所を増やす際の考え方については、過去に防犯カメラを設置する際に策定した「新庄市防犯カメラ整備計画」の考え方を基本として、設置要望があった場合には警察等の関係機関と随時協議・検討するものと捉えています。
設置に際しては、近隣住民のプライバシー保護への配慮も必要になることから、慎重な検討が必要になると考えます。

◎行政が担うべき領域である、学校や公共施設には、安全性の観点から防犯カメラの設置が必要と考えますが、現状の検討状況はいかがか。

市長 本市においては、他市に比べて公共施設に設置している防犯カメラの設置台数が少ない状況です。施設管理の面だけでなく、防犯の観点からも、公共施設への防犯カメラの設置が望ましいと考えています。
現在、公共施設の統廃合の課題もあるため、状況に応じて施設を所管する関係機関と協議・検討していきたいと考えています。
学校教育課、教育総務課、社会教育課に確認したところ、防犯カメラの設置の検討を進めているというのを聞いています。全庁的にも、今後の施設のあり方を考える中で検討を進めたいと考えています。



公共施設の防犯体制

質問動画は
こちらから



より幸せに。ごみの出し方。



かめいひろと 議員
亀井博人

◎雪が少なく、医療、福祉、買い物、公共交通が充実し、選択肢が多い都市に転出する人もいます。今住んでいる人をより幸せにする政策の重点化について伺います。

市長 令和8年度予算においては、総合計画前期5か年の検証や社会ニーズの変化などを踏まえ、人口減少対策や市民の暮らしを向上させるため、財源の確保も図りながら、必要な事業を選択してきたところです。

現在の事務事業評価では、行政運営の効率化や職員の意識改革、事業の改善などを目的として実施していますが、予算や人員が限られる中で、事業効果が低い事業は見直していく必要があるため、PDCAサイクルのものと評価・改善を行い、限られた行政資源の効率的な配分により、市民の暮らしに寄与する事業の実施に努めます。

◎本市では、ごみ袋に住所と氏名を記入し出しますが、県内13市の状況はどうですか。また記名不要の食品トレーの状況について伺います。

市長 県内13市における氏名等の記入ルールについて、本市を含めた3市が記名を必須としています。残り10市では、ごみ袋に記名欄は設けているものの、記入は任意としており、自治体ごとに地域事情や排出管理の考え方を踏まえた運用がなされているものと認識しています。

食品トレーについては、基本的には記名しないでそのままスーパーに出すものですが、ガイドブック等に記載しているとおり、仕分けをして、洗ってきれいにした状態で出していただくことになるため、この点について市民の皆様へ周知していきたいと考えています。



住みよさ上昇中(イメージ)

質問動画は
こちらから



奨学金支援の拡充による若者の地元定着

◎若者の地元定着に向け、大学等進学者の地元回帰を促すための奨学金返済支援制度の抜本的な拡充と、市の具体的な対応について伺います。

市長 本市では、医療及び福祉の人材を確保し定住を促進するため、「新庄市奨学金返還助成金交付事業」を実施しています。対象者は、看護師等の資格を有し、本市に住居登録している方で、市内の医療機関や介護施設等で正職員として雇用されている方を対象に、奨学金の返還費用を年間最大18万円助成するもので、令和6年度は4名に助成しています。

その他、最上育英会奨学金では、「新庄市枠」として、理工系、保育系、看護系の大学等を卒業し、市内の事業所に就職した場合に奨学金の返還を減免する制度や、県と連携した「新やまがた就職促進奨学金返還支援事業」を実施しており、いずれの事業も若者が本市へ定住する一助として機能し



いとうけんいち 議員
伊藤健一

ているものと考えています。奨学金返済支援制度の拡充は、これまでの実績や今後のニーズ等を踏まえ、若者の定着につながるよう検討したいと考えています。



地域防災マネージャーの活動の様子

◎昨年新設された防災危機管理課において、特に防災マネージャーの活動を通じた地域防災力の向上について伺います。

市長 今年度は、地域防災マネージャーの専門性を生かし、町内会、介護事業所、小中学校をはじめ、各種団体や企業等に対して活用促進に向けた周知を積極的に行いながら出前講座や避難訓練等に取組、自助・共助の意識啓発と地域防災力の向上に努めました。

来年度も地域防災マネージャーの専門的知見を活用し、自主防災組織の立上げ促進や活動の支援を進めるとともに、令和8年度に予定している「山形県・新庄市合同防災訓練」の企画立案、各種計画の見直しなど、地域全体の防災意識の向上及び災害対応力の強化に取り組めます。



さとう えつこ 議員 佐藤悦子

市民とともに再エネ100%の市に



質問動画はこちらから

◎世界の二酸化炭素の濃度が過去最高を更新した。深刻な気候危機への対策が一刻の猶予もないことが明らかだ。
再生可能エネルギーの発電コストは、原発や化石燃料より低い。公共施設、市内企業施設、営農、家庭での電力使用を再エネで活用するよう支援計画を立ててはどうか。

市長 市内の事業者及び家庭に向けた省エネ及び再エネの推進方策については、今年度末に策定予定の「地球温暖化対策実行計画区域施策編」に、また、事業所としての本市の取組については、令和3年3月に策定した「地球温暖化対策実行計画 事務事業編」に取りまとめています。
エネルギーコストが上昇トレンドにある中で、各主体における省エネ・再エネの取組が着実に推進されるよう、市としても適切に取り組みます。

◎農山漁村再エネ法の活用で、売電収入の一部を住民や地域に還元する事業の推進を。長野県飯田市のように、住民などの事業計画に市の認証、資金支援をしていくことも必要ではないか。

市長 本市においても、豊かな農地や森林資源を次世代に引き継ぎ、地域経済の活性化を図るうえで、再生可能エネルギーの導入は重要な施策の一つと認識しています。

本市では、新庄市再生可能エネルギー基本計画を策定し、発電設備の導入事業に対する住民の理解を得ながら、新庄市再生可能エネルギー協議会において、持続可能な地域づくりを実現するため、関係機関や地域住民と話し合いを行っています。

今後、他自治体の先行事例を調査し、本市に最適な還元モデル等の事業について研究していきます。

発電量中の再生可能エネルギー比率

国名	2023年
日本	23%
ドイツ	53%
デンマーク	87%
アイスランド	100%

和田武著「気候危機打開と社会変革」P.78
新日本出版社 刊

若い世代の防災リーダーの育成を



質問動画はこちらから

◎将来の地域防災を担う「防災リーダー育成」の為、中学生を対象に防災研修会を開催してはどうか。

市長 本市では、毎年、各学校区単位で総合防災訓練を実施し、これまで多くの児童生徒の皆さんに参加いただいています。訓練を通じて、災害時の行動に加え、地域で支え合うことの重要性に触れる機会となっており、防災意識の向上につながっていると認識しています。

また、地域防災マネージャーの防災の専門性を生かした活動として、中学校及び義務教育学校における防災講座や避難訓練への助言を行うとともに、消防団の活動として、高校生を対象に消防団活動の紹介や地域防災の必要性に関する講演を行うなど、中学生に対する防災知識の普及と防災意識の向上に努めてきました。
今後も、既存の防災講座や訓練等の機会を活用しながら、教育委員会、学校と連携した取組を継続していきます。



たかはし ふみこ 議員 高橋富美子

◎更年期障害の早期発見に向けた検査数値の活用と啓発について、自身の状態を客観的な数値で把握できるよう、ホームページに女性向け男性向けのセルフチェック機能を設け、その結果に基づき適切な医療機関に繋げる仕組み作りを。

市長 本市では、「いきいき健康づくり新庄21第3次計画」において、女性の更年期や女性ホルモンの変化による症状や対応の普及啓発に取り組むことを掲げており、また、更年期障害に関わらず、健診結果や心身の不調に対して随時健康相談を実施しています。
今後、更年期障害の症状、対処法とともに、症状の程度を調べるセルフチェックの活用など、周知、啓発に取り組みます。

更年期指数 チェックテスト			
症状	満	中	軽
✓ 顔がほてる	10	6	3
✓ 汗をかきやすい	10	6	3
✓ 足や手足が冷えやすい	10	6	3
✓ 息切れ、動悸がする	10	6	3
✓ 骨が痛む	10	6	3
✓ 髪が抜けやすい	10	6	3
✓ 顔が赤い	10	6	3
✓ 体重が増える	10	6	3
✓ 疲れやすい	10	6	3
✓ 集中力が落ちる	10	6	3
✓ 夜間頻尿	10	6	3
✓ 骨密度が低い	10	6	3
✓ 冷えやすい	10	6	3
✓ 頭痛が頻りにする	10	6	3
✓ 肩こりがある	10	6	3
✓ 手足が冷たい	10	6	3
合計			

セルフチェックシート

総務文教常任委員会行政視察報告

令和8年1月28日(水)～29日(木)にかけて、「教育環境の整備と地域連携による人材育成」および「文化資源を活かした交流人口の拡大」について、地域の先進事例を現地調査することで、政策形成・制度設計に資する具体的な知見を得ることを目的として行政視察を行った。

1. 上山市立西郷小学校・西郷中学校(通称「上山きらり学園」)

文部科学省指定「学びの多様化学校」は、多様な背景を持つ児童生徒の受け皿として個別学習プログラムや支援者との協働を通じた公教育の拡張版としての新たな学びのモデルであり、学びの環境が整っており、こどものよさや可能性を引き出す、新たなスタイルの学校と感じた。



上山きらり学園での視察の様子

2. 米沢市上杉博物館

参加型コンテンツを通じて、歴史と観光、教育の三位一体型活用を実現している点が参考になった。

3. 会津若松市

歴史的建造物の保存・利活用に加え、プロジェクションマッピングやストーリー展示、街歩きルートとの連携など、地域アイデンティティの醸成と観光振興をうまく両立されている。新庄藩の火消し文化を起点とした記念施設整備など、文化的誇りの見える化・体験化を目指す政策提言のモデル事例として位置づけられると感じた。

4. 福島市古閑裕而記念館

新庄市民歌の作曲者でもある国民的作曲家古閑裕而の功績を音・映像・楽譜展示で表現。音楽体験型展示やフェスとの連動による市民と観光の双方を巻き込んだ文化拠点を視察して、多世代が関わる文化交流の創出に直結するヒントとなった。

今回の行政視察で得た知見を踏まえ、委員会において政策提言を推進してまいります。

令和7年度政務活動費の報告

政務活動費は、市議会議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として交付されるものです。会派別の収支を報告します。

会派など	政務活動費 交付額	支出内容							支出合計	⑧返納額	
		①調査研究費	②研修費	③広報費	④広聴費	⑤資料作成費	⑥資料購入費	⑦その他の経費			
新政・結の会 高橋 富美子 小嶋 富弥 小野 周一 佐藤 卓也 山科 正仁 山科 春美 渡部 正七 鈴木 法学 辺見 孝太 鈴木 啓太	1,800,000円	1,408,880円	0円	202,400円	0円	43,332円	0円	120,000円	1,774,612円	25,388円	
共に創る市民の会 坂本 健太郎 田中 功 伊藤 健一 今田 浩徳 新田 道尋	900,000円	382,120円	297,900円	143,450円	16,530円	0円	0円	60,000円	900,000円	0円	
無会派	佐藤悦子	180,000円	0円	0円	107,327円	0円	1,141円	59,380円	12,152円	180,000円	0円
	亀井博人	180,000円	0円	124,830円	28,689円	3,306円	0円	11,175円	12,000円	180,000円	0円

【政務活動費の交付額について】

「会派の所属議員数×月額15,000円×12か月」で算出した額が、各会派及び会派に属さない議員に交付されています。

【支出内容の各項目について】

- ①調査研究費：会派が行う市の事務や地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
- ②研修費：会派が研究会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会に参加するために必要な経費
- ③広報費：会派が行う活動や市政について住民に報告するために必要な経費
- ④広聴費：会派が行う活動及び市政について住民に報告するために必要な経費
- ⑤資料作成費：会派が行う活動のために必要な資料の作成に必要な経費
- ⑥資料購入費：会派が行う活動のために必要な図書、資料等の購入に必要な経費
- ⑦その他の経費：上記以外の経費で会派が行う調査研究活動に必要な経費
- ⑧返納額：政務活動費に残額が発生したため市に返納する額。

市民の声

地域で活躍する皆さまの声を紹介します。

四百年の節目に寄せて

昨年、新庄市は開府四百年の佳節を迎えました。寛永の昔、戸澤政盛公がこの地に城府を定めて以来、幾多の歳月を経て今日の郷土の礎が築かれてまいりました。戸澤氏歴代を奉斎する戸澤神社に奉仕する者として、この歴史の重みを改めて深く感じております。

私自身もこの地に生きる一人として、日々の仕事に励む人々の思い、家族を守り育てる温かな願い、そして郷土新庄を大切に想う心に触れながら、神明に祈りを捧げております。

戸澤神社はこれからも敬神崇祖の念を礎に、市民の心の拠り所として地域の絆を見守り、郷土新庄の弥栄と人々の安寧を祈りつつ、その歴史と精神を次代へと伝えてまいります。

また、戸澤神社には氏子青年会があります。ご興味ある方、お祭りが好きな方は是非とも会員になっていただき、当社戸澤神社を後世に残せるようご尽力賜りたく思っております。



戸澤神社
ごんね ぎくさか とものぶ
権禰宜 日下 倫誠さん



ちようちん く よう あかり
戸澤神社提灯事業「九曜の燈」



新庄まつり出発式

6月定例会の予定

5月21日(木)	請願締切
6月 2日(火)	開会
3日(水)	一般質問 中継あり
4日(木)	一般質問
5日(金)	一般質問
8日(月)	常任委員会
9日(火)	常任委員会
12日(金)	最終日 中継あり

開会は10時です ◇ 請願は随時受け付けております。

議会の傍聴について

どなたでも傍聴できます。受付票に住所・氏名を記入していただくほかは面倒な手続きはありません。団体の方は事前に議会事務局までご連絡ください。ぜひ、市役所3階議場に足を運んでください！

パソコンのほかに

スマートフォン・タブレットでも市議会ネット中継が視聴できます！



市議会インターネット中継



新庄市議会 中継

検索



市議会の様子をインターネット中継しています。市役所の市民課フロアでも視聴できますので、ぜひご利用ください。※約1週間後に、録画したものがインターネットで視聴できます。

あともがき

季節の移ろいは早く、豪雪だった冬が3月には雪解けと樹々の芽吹き、4月には梅や桜の開花と、雪囲い外しや春作業と春を愛でる時間が短いと感じているのは最近の傾向ではないでしょうか。新生活が始まり早ひと月が過ぎようとしています。慣れるまでにはまだまだ先でしょうが、自分に合った生活リズムを見つけ五月病を寄せ付けないサイクルを作りたいたいと思います。誌面だけでなく皆さんと会う機会がたくさんあります。流動する時代の中、地域愛の気持ちを持って、これからも様々な方と接して新庄で頑張る方の力でありたいと思います。

(記・今田 浩徳)

議会報編集委員の紹介

委員長 鈴木 法学
副委員長 伊藤 健一
委員 亀井 博人

委員 鈴木 啓太
委員 辺見 孝太
委員 今田 浩徳

■発行/山形県新庄市議会 ■編集/議会報編集委員会

■問い合わせ/新庄市議会事務局 〒996-8501 山形県新庄市沖の町10番37号

TEL 0233-22-2111(内線302・303) 0233-23-5002(直通)

FAX 0233-22-0989 E-mail gikai@city.shinjo.yamagata.jp



環境にやさしい植物油インキを使用しています